

学校教育目標

夢をもち たくましくしなやかな ひろせっ子

研究主題

主体的に考え 学びをよりよくする子の育成

目指す子供像：学習内容を自分事として捉え、進んで他者と協働・対話することを通して、自分の考えを広げたり、深めたりし、学びをよりよいものにする子

研究仮説

「自分事として学び 学びの質を高める授業」を実践することにより、子供たちは「学びの実感」を積み重ねながら、学習内容を自分事として捉え、進んで他者と協働・対話し、自分の考えを広げたり、深めたりしながら学びをよりよいものにしていく「主体的に考え、学びをよりよくする子」に育つだろう。

授業研究・研究協議の充実

事後研究協議は、2つの視点を基に子どもの表れを通して話し合い、今後の指導に生きるよう、具体的な指導方法や支援方法等について協議をしていく。

- ・子供が、本時の課題を自分事として捉えているか。
- ・子供が、進んで他者と対話・協働しながら、考えを広げたり、深めたりして、学びをよりよいものとしているか。

自分事として学び 学びの質を高める授業

学びの実感

イ他者との協働・対話を通して、考えを広げたり深めたりしていく授業展開

学びの実感

ア学び手の視点に立った授業構想

考えを広げたり深めたりする協働・対話

学びの実感

ウ学びの振り返りや分析

教科の見方・考え方

支持的な学級風土